

こたえていく。かなえていく。



2024年6月11日  
北陸電力株式会社  
株式会社インテック

## 北陸電力とインテック、 エネルギー・リソース・アグリゲーション事業に関する協業開始 ～次世代電力マネジメントによりカーボンニュートラル社会の実現に貢献～

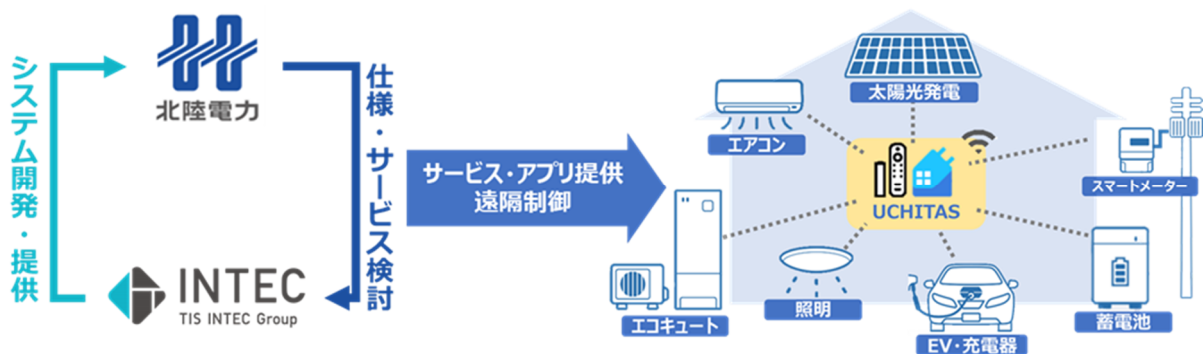
北陸電力株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役社長 社長執行役員：松田光司、以下 北陸電力）と TIS インテックグループの株式会社インテック（本社：富山県富山市、代表取締役社長：疋田秀三、以下 インテック）は、エネルギー・リソース・アグリゲーション事業に関する協業について、本日、基本合意書を締結いたしました。

エネルギー・リソース・アグリゲーション事業は、分散型エネルギーリソース※1（以下、DER）を束ねてコントロールし、仮定の発電所のように機能させることで、再生可能エネルギーの活用促進、災害時のレジリエンス向上、電力システムの効率化に資するエネルギービジネスです。

北陸地域に根差した事業基盤を有する両社は、北陸電力の強みであるエネルギー事業と、インテックの強みであるデジタル技術を相互に補完し、カーボンニュートラル、持続可能な社会を目指してエネルギー・リソース・アグリゲーションを実現することで、エネルギー事業の拡大、ひいては地域経済の発展に寄与すべく、協業を開始します。

両社は、これまで、インテックのスマートホームアプリ「UCHITAS（ウチタス）」を通じて複数のエコキュートを遠隔制御する実証実験を行っており、基本的な技術確認と課題解決への取り組みに着手しています。

今後、エコキュート、蓄電池などの DER に加え、エアコン、照明などの家電製品と「UCHITAS」を連携し、遠隔・統合制御することで、家庭内の電気使用状況の最適化や電力システムの効率化など、次世代電力マネジメント※2を実現する新しい DR サービスの検討を推進します。



また、本事業に求められるサイバーセキュリティ対策においては、本分野で関連研究と政策提言を行っている慶應義塾大学に研究拠点を置くサイバー文明研究センター※3、そして慶應義塾大学 SFC 研究所地域 ICT プラットフォームラボにおける研究成果を活用し、IEC(国際電気標準会議)の最新の国際標準動向へ対応した取り組みを推進していきます。

※1 分散型エネルギーリソース (DER) :

エコキュートや蓄電池といった需要家の受電点以下に接続されているエネルギーリソース (受電、蓄電、需要設備など) の総称

※2 次世代電力マネジメント :

太陽光発電やEV、蓄電池、エコキュートなどを組み合わせて電力需給を最適化すること

※3 サイバー文明研究センター :

2018 年から慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート内に設置し、米国と日本のインターネットエンジニアリングおよび管理情報システムの専門家を迎えたサイバー・フィジカルシステムに関する国際連携研究機関 (共同センター長: デイビッド・ファーバー 博士、村井純 慶應義塾大学教授)。

以 上

別 紙 : 「エネルギー・リソース・アグリゲーション事業に関する協業開始について」

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先

北陸電力株式会社 地域共創部 報道チーム

TEL : 076-405-0110

株式会社インテック テクノロジー&マーケティング本部 広報室 小川、長谷、稲垣

E-Mail : press@intec.co.jp

◆各社サービスに関するお問い合わせ先

北陸電力株式会社 営業本部 営業本部室 CN ビジネス開発チーム

E-Mail : cn\_drservice@rikuden.co.jp

株式会社インテック ビジネスイノベーション事業部 ビジネスイノベーション部

担当 : 遠藤、大谷

E-Mail : uchitas\_support@intec.co.jp

別紙

## エネルギー・リソース・アグリゲーション事業に関する協業開始について ～次世代電力マネジメントによりカーボンニュートラル社会の実現に貢献～

2024年06月11日

北陸電力株式会社  
株式会社インテック

© Hokuriku Electric Power Company / ©2024 INTEC Inc.

## 背景

近年、地球温暖化による気候変動問題への対策として、世界各国は温室効果ガス排出量削減が喫緊の課題となっており、国連事務総長も「地球沸騰化」という言葉で警鐘を鳴らしています。

日本では、政府が2050年までに温室効果ガス排出量を全体としてゼロの状態にする「カーボンニュートラル」を宣言しており、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」(令和3年6月18日)では、産業政策・エネルギー政策の両面から、成長が期待される14の重要分野について目標を掲げています。

その一つに「次世代電力マネジメント」が定義されており、分散型エネルギーリソース(DER)の活用最適化や電力需給の最適化サービスを促進することが表明されています。

これらの次世代電力マネジメントサービスが発展することで、再生可能エネルギー(以下、「再エネ」)の有効利用だけでなく、お客さまにとっても、家庭内の電気機器の利用が、経済性、省エネ性の面で最適化されることで、電気使用量の節約につながるとともに、災害などによる影響範囲の抑制などレジリエンス向上にも期待されています。

# 北陸電力とインテックの取り組み

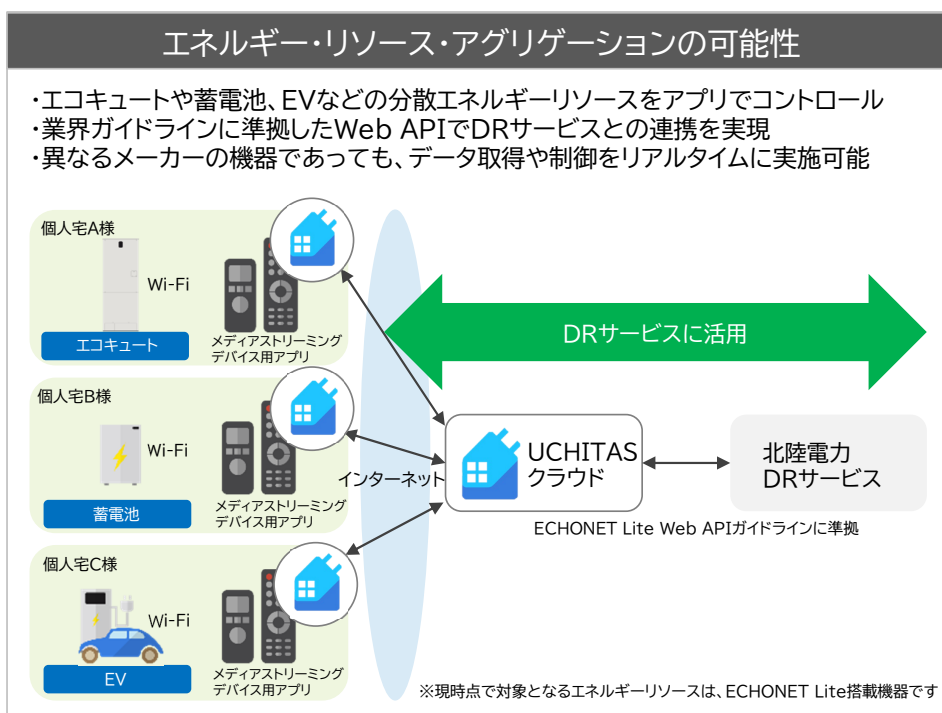
## ●北陸電力の取り組み

北陸電力では、2019年以降、経済産業省資源エネルギー庁の「需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント構築実証事業」を通じて、エコキュートを中心に、ご家庭内の家電の遠隔制御の実証を進めてきました。実証などにより得られた知見・ノウハウを基に、エコキュートリースとDRサービスを組み合わせた日本初のサービス「Easyキュート」を開始しております。本サービスは、令和6年度デマンドサイドマネジメント表彰 機器部門において最上位賞である「経済産業省資源エネルギー庁長官賞」を受賞しました。

## ●インテックの取り組み

インテックでは、R&Dとして、慶應義塾大学SFC研究所と設立した「地域ICTプラットフォーム・ラボラトリー」において、Personal Generated Data (PGD:個人が保有する機器が生成するデータの有効活用) 構想に基づき、スマートホームプラットフォームを開発しております。

# 北陸電力とインテックが取り組むエネルギー・リソース・アグリゲーションの可能性



## 今後の展開

北陸電力およびインテックは、北陸電力が培ったDERの運用ノウハウとインテックの UCHITASにおけるデジタル技術を活用し、新たなDRサービスを検討してまいります。



次世代電力マネジメントにより  
カーボンニュートラル社会の実現に貢献

### エネルギー・リソース・アグリゲーション事業



© Hokuriku Electric Power Company / ©2024 INTEC Inc.

5

## 各社の概要

### ■北陸電力株式会社について(<https://www.rikuden.co.jp/>)

既存の電気事業の枠を超えて事業展開し、地球温暖化問題への対応および地域の持続可能な発展とスマート社会の実現という社会課題の解決に貢献していくという決意の下、2050年の将来像「地域とともに、持続可能なスマート社会を目指して～つなぐ・ささえる・とどける～」を掲げ、自治体や地元企業などと連携し、地域の課題解決に積極的に対応する課題解決先進企業を目指してまいります。

### ■株式会社インテックについて(<https://www.intec.co.jp/>)

お客様の経営戦略に沿った情報化戦略の立案からシステムの企画、開発、アウトソーシング、サービス提供、運用保守まで、IT分野において幅広く事業を展開しています。インテックは、1964年の創業以来培ってきた技術力をもとに、AI、RPAなどのデジタル技術の活用や、新たな市場の創造にも積極的に挑戦しています。常にオープンな姿勢で、人、企業、社会を技術でつなぎ、自らも変革しながら「豊かなデジタル社会の一翼を担う」企業としてお客様に新しい価値を提供してまいります。

© Hokuriku Electric Power Company / ©2024 INTEC Inc.

6

# 各社関連サービス

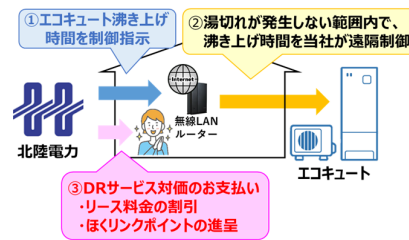
## ■Easyキュートについて

「Easyキュート」は、省エネ性に優れたエコキュートを初期費用のご負担なくお使いいただけるリースサービスと、お客さまのエコキュートを電力需要の調整に活用させていただき、その対価をお支払いするDRサービスを組み合わせ、日本初のサービスです。

お湯切れを発生させることなく、遠隔制御によりエコキュートの沸き上げ時間を夜間から昼間にシフトさせることにより、再エネ電源の有効活用や電力設備の効率運用を図ります。

詳細は以下URLを参照ください。

[https://www.rikuden.co.jp/home/easy\\_cute.html](https://www.rikuden.co.jp/home/easy_cute.html)



## ■UCHITASについて

「UCHITAS」は、「雑事から解放されたシンプルな暮らしを応援」というコンセプトを元に、お手持ちの家電の管理、リモコン操作、取扱説明書の閲覧ができるスマートホームアプリです。メディアストリーミングデバイスに対応した「UCHITAS Connect」と連携することで、外出先や旅行中など宅外から宅内の家電の稼働状況の把握やリモコン操作に対応できます。この技術を応用し、エネルギーリソースアグリゲーションを支援するプラットフォーム化を実現することにより、低・脱炭素社会への貢献を目指しております。

詳細は以下URLを参照ください。

<https://uchitas.intec.co.jp/>

- ※ UCHITAS、UCHITAS Connectは、株式会社インテックの登録商標です。
- ※ ECHONET Lite、ECHONET Lite AIFは、一般社団法人エコーネットコンソーシアムの登録商標です。
- ※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

